

土砂災害 道路寸断を想定

平成 21 年度長島町総合防災訓練



孤立者をヘリコプターで救出し、救急車へ引き継ぐ

台風災害を想定した総合防災訓練が9月6日、獅子島片側地区であり、片側自主防災会や消防団、町職員ら約350人が参加しました。

訓練は、台風による豪雨で町が住民に対し避難勧告を発令。片側地区に土砂災害が発生し、住宅などが全半壊、道路が各地で寸断されたという想定で実施しました。県消防防災航空隊のヘリコプターや第10管区海上保安本部の巡視艇、阿久根警察署、阿久根地区消防組合などと連携して、避難訓練や災害対策本部設置訓練、情報伝達訓練などを行い、万が一の事態に備えました。

訓練を終えて片側の池元純雄公民館長は「片側には急傾斜地が多い。訓練で住民の防災への意識が高められた」と話しました。